

森の新聞

日本野鳥の会広島県支部



2013. 9・10

No. **188**

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html



9月

- 7(土) 連絡会 (18:30~)
安佐動物公園探鳥会 (広島市)
15(日) 松永湾探鳥会 (福山市)
16(祝) 八幡川「清掃」探鳥会 (広島市)
22(日) 新山探鳥会 (世羅町)
28(土) 佐伯区運動公園探鳥会 (広島市)

10月

- 5(土) 連絡会 (18:30~)
6(日) 葉田竜王山探鳥会 (三原市)
14(祝) 可愛川探鳥会 (安芸高田市)
20(日) 八幡川探鳥会 (広島市)

野鳥観察・写真撮影の マナーについて

最近野鳥の写真撮影や観察時のマナーについて、いろいろな批判やご意見が寄せられています。

自然のフィールドで懸命に生きている生物を暖かく見守ることが、自然の中で活動していく上での基本だと言われていますが、個人の趣味の世界でしか物事を考えられない人たちが増え、さまざまな議論を呼んでいます。

そこで改めて野外での自然観察についてのマナーについて考えていただこうと思い、2010年6月号の「森の新聞」に掲載し、以後日本野鳥の会広島県支部のホームページに掲載し続けているアピール文を再掲します。

繁殖期の野鳥に対する観察マナーが問題になっています。

野鳥や他の自然を脅かす行為がエスカレートすれば、私たちが鳥を楽しむ場さえ失われてしまいます。

最近（2010.06）、「臥龍山で、写真撮影のマナーが悪い人が多い」と多くの苦情が寄せられています。

具体的には、造巢中のアカショウビンを撮影するために、

- 1、造巢中の木に近寄って写真を撮影する
（林道や登山道から外れて林床を踏み荒らす）
- 2、撮影の邪魔になる枝やとまり木を伐る
- 3、アカショウビンの鳴き声をスピーカーで流す

・・・などの行動が問題になっています。

日本野鳥の会では、以前から「自然にあるがままの野鳥を楽しむ」という理念のもと「野鳥の繁殖活動の妨げになる恐れのある観察(写真撮影)はしない」ことを啓発していますが、広島県内において、このような事態が発生していることは、とても残念なことです。

臥龍山は自然公園法による「特別保護地区」に指定されています。

特別保護地区では、木を伐採する行為や土石を採取する行為などが禁止されているだけでなく、植物を損傷する行為や、落ち葉や枯れ枝を採取することさえも禁止されており、上の1・2の行為は単なるマナー違反ということだけではなく、明らかに法律にも違反しています。

さらに、地元では貴重なブナの原生林の保全にたいへん苦勞されているところです。

今回のように、林道や登山道を外れて、ブナの林床を踏み荒す無分別な行為は、地元の人たちの思いをも踏みにじるものです。

北広島町では今年(2010)3月に「生物多様性の保全に関する条例」が制定され、さらに条例の整備が進められています。

今後も同様な行為が継続される場合、最終手段として、条例による繁殖期の車両立入禁止などの措置が講じられることすら考えられます。

一部の人たちの身勝手な行動により、マナーを守っている人たちや地元の人たちにまで大きな迷惑をかけることを自覚してほしいものです。

支部では今後、北広島町と連携して、この問題に取り組む方針です。少なくとも本会の会員のみなさんは、今後、野鳥の繁殖活動の妨げになるおそれのある行動は、絶対にしない(させない)ようにお願いします。

次ページに続く

今回、臥龍山での問題をきっかけとして、野鳥を観察(写真撮影)する際のマナーについてお願いしましたが、私たちのマナーが問題になるのは、繁殖期あるいは臥龍山に限られたものではありません。

野鳥観察に関するマナー違反は、他にもさまざまなケースがあります。

- × 餌をまいたり、鳴き声の録音を流して野鳥をおびきよせ、生態をゆがめる。
- × 珍しい種の観察情報を不用意にネットで発信することにより、異常に多数の観察者が殺到して、野鳥や地元の人たちに迷惑をかける。
- × 農繁期の田園地帯で、農道に長時間自動車を停車させて交通を妨げたり、あぜ道に踏み込んで荒す。
- × 民家の方向に望遠鏡(双眼鏡)やカメラを向けて、住民に不快感を与える。
- × 無断で私有地に入り込んで野鳥を観察(写真撮影)する。

このような行動は絶対にしないでください。

会員のみなさんには、フィールドマナーの「や・さ・し・い・き・も・ち」を念頭に、あらためて自分自身のマナーを省みていただきたいと思います。

2010 年 6 月 10 日



図書館だより

【寄贈本】

里山と湿地を守るレンジャー奮闘記 豊田市自然観察の森とラムサール条約

日本野鳥の会BOOKLET 1 大畑孝二(日本野鳥の会チーフレンジャー・豊田市自然観察の森所長)著
B6判 96頁 日本野鳥の会寄贈 1986年北海道ウトナイ湖サンクチュアリ創設からの活動記。

◎上田恵介先生(立教大学教授)寄贈本

渡り鳥の世界 中村司著 山梨日日新聞社 B6判 200頁

埤に集う 黒田長久著 黒田奨学会 A5判 97頁

伊豆沼・内沼研究報告 Vol.6 2012 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 A4判 84頁

ハクチョウ 水辺に生きる 嶋口哲郎文・伊藤利喜雄写真 小峰書店 A4判 36頁

宍道湖の自然 山陰の自然シリーズNo.1 佐藤仁志編 山陰中央新報社 B5判 178頁

モニタリングサイト1000 海鳥調査報告 環境省自然環境局生物多様性センター A4判165頁

トキ(朱鷺)モニタリング研修会 2011年 米田重玄・中島卓也他編 中日合作A4判119頁

バードウォッチング・エコツアー シンポジウム 2012 同上2名編 中国林業科学研究院A4判160頁

大都会に息づく照葉樹林の森 濱尾章二・松浦啓一編 東海大学出版会 B5判 156頁

川と湖を見る・知る・探る-陸水学入門 村上哲生・花里孝幸・他編 地人書館 A5判 193頁

海の保全生態学 松田裕之著 東京大学出版会 A5判 205頁

水の環境学 檜山哲哉・河村則行・清水裕之編 名古屋大学出版会 A5判 312頁

生態学のレッスン 渡辺守著 東京大学出版会 A5判 185頁

シネマで生態学 若原正巳著 JKE通信 B6判 254頁

梅棹さんのサギシラス 周達生著 神戸新聞総合出版 B6判 280頁

【購入本】

羽 Feathers 進化が生みだした自然の奇跡 リア・ハンソン著 黒沢令子訳 白揚社 A5判349si

もっとも美しい自然の奇跡一羽。羽はどのように進化し、利用されてきたのか？

連載エッセイ

⑥「普通の鳥」って・・・

～ツバメ,キジバト,トビ でいいですか?～

このエッセイでたびたび登場する「普通の鳥」。

はたしてどんな鳥が「フツー」なのか？

ある意味難しいこのテーマを、十カサキなりに

真剣に考えてみた。



中崎さんの似顔絵

広島県で多く記録された鳥 BEST20

順位	種 名	件数
1	ツバメ	705
2	キジバト	655
3	トビ	637
4	ジョウビタキ	608
5	ヒヨドリ	551
6	ハシボソガラス	548
7	ツグミ	510
8	ハチクマ	492
9	ハシブトガラス	490
10	コサギ	464

順位	種 名	件数
11	ウグイス	454
12	サシバ	453
13	シジュウカラ	431
14	アオサギ	427
15	コシアカツバメ	413
16	スズメ	409
17	ムクドリ	400
18	マガモ	396
19	モズ	395
20	ホオジロ	358

「ひろしま野鳥図鑑」(増補改訂版:2002年11月発行)による。
件数などのデータは(初版:1998年10月発行)と変わらない。

上の表をご覧ください。

データの根拠として引っ張り出したのは、例の「ひろしま野鳥図鑑」(増補改訂版)。種類ごとに写真・解説・分布図・期間図などがあり、観察例の最後に [データ総数] が記してある。全種のデータ総件数 27,584 件に占める件数である。これを多い順に並べたのが上の表である。

この表を見て、様々な感想をお持ちになることだろう。ツバメ(1位)やジョウビタキ(4位)が多いのは、「初認」の情報が多く寄せられたためだと思われる。ハチクマ(8位)とサシバ(12 位)のランクインには、ワシタカファンの深い思い入れを感じる。個人的には、キジバト(2位)がヒヨドリ(5位)を 100 件以上上回っているのが興味深い。

実は、情報カードだけでこのようなリストを作ると、いわゆる「普通種」が少なく、実際の生息状況が現れにくい。情報カードが「珍鳥情報」に偏ってしまいがちだからだ。「ひろしま野鳥図鑑」に普通種が多数あるのは、カード以外に探鳥会や各種調査の記録もソースとしているためである。

危機感をもって注目したのはコサギ(10位)である。私のささやかな調査では、数年来ほとんど記録がない。図鑑の発行から10余年、コサギはまだ普通種として健在だろうか？ 逆に、表にはないオオバン(19 件)、図鑑では「県西部では記録がない」とあるが、現在冬季には普通に見られ、局所的だがカワウ(12 件)とともに「黒鳥の湖」を形成している。皆さんの周辺の「普通種」はどうですか？ (会員 中崎さん)

=フォト エッセイ=

「ラブラブカッフル」

毎年5月も中頃になるとブッポウソウが来ているのではないかと気になります。
見に行ったのは5月の下旬、芸北のとあるところ。

着いたら巣箱を物色しているペアがいました。しばらく見ているとそのペアが急に近くの電線に並んで止まりました。それもピッタリとくっついて ♡ 今まで並んで止まるのは見ましたが体温が伝わるほど寄り添う姿を見たのは初めてです。

まさにラブラブ状態。よくは分かりませんが、近くで別の個体が飛び回っていたから、♂は♀を取られてはいけないと必死にガードしていたのかもしれない。

帰ってから写真を近所のミニカフェで常連さんたちに見せたら「昔を思い出すのう」とか、「今からでも遅うないで」とか言ってにやにや笑われました。

その証拠写真がこれです。(安佐北区 宮本 和夫さん)



2013 年秋のシギ・チドリ渡り調査

広島県支部が継続して行っているシギチドリ調査です。春の渡り調査に続き、秋のシギ・チドリ類を観察記録します。秋の干潟で観察されるシギ・チドリは春5月上旬の連休前後に繁殖地へ渡っていくパターンとは異なり、8月から10月にかけて北方で繁殖を終えたシギ・チドリが東南アジアやオーストラリアの越冬地へ向かって移動して行くものが長い期間にわたって観察されます。そんなシギチドリ類を観察します。

一斉調査期間：

2013 年 9 月 15 日（日）前後 1 週間 とします。

担当者の都合で、調査しやすい日を選んで実施してくださって結構です。調査結果は情報カードの様式でも、その他の自由な形式で結構です。シギ・チドリが良く観察される探鳥会も松永湾、八幡川の2ヶ所で計画されています。

県内の水辺や干潟で8月から10月末までのシギ・チドリの観察記録をお寄せください。9月末までに送っていただいた調査結果は短報として森の新聞で報告します。例年実施している次の調査地で一緒に調査していただける方はそれぞれの担当者に連絡してください。

調査地	担当者	連絡先・他
福山南部・松永湾	渡辺	9月15日松永湾探鳥会が開催されます。
沼田川および河口	内海	
呉・広西大川	森山	
東広島	木本	
太田川放水路	中崎	
廿日市・御手洗川	住田	
八幡川 大竹市・小瀬川	日比野	9月16日9:00八幡川清掃探鳥会開催

問い合わせ先ならびに調査結果送付先：日比野政(電話)

回覧板です！①

★「動物園獣医に挑戦！！！」

中国新聞文化センター「クレドビル教室」で開講！

7～9月に続いて上記表題で、福本支部長の新しい講座が開講されます。案内文によれば、「動物園の人気者の体調はどう保たれているのでしょうか？ 日ごろ、目にすることがない動物園の獣医師の仕事を体験。カメやヘビの性別鑑定の仕方や猛獣を眠らせて治療するための麻酔用吹き矢の製作や試射、解剖実習もあります。安佐動物公園での実習(2日間)もお楽しみに！」とのことで、動物などを使った実技の講座です。

興味のある方は参加してみませんか？

定員 20 名；11 月 16 日(土)から 5 週連続。第 2 開講日のみ 11 月 24 日(日)。

12 月 7 日(土)、14 日(土)は動物公園での実習。

☞問合せ先： 中国新聞文化センタークレドビル教室
082-■2-4111 (月～土 9:30～18:30)

★図書館の不要資料を廃棄します。

心当たりの方はご連絡を。

収蔵図書の増加で、本来の野鳥本さえ収納に苦労している図書館ですが、その中にラベルのない仮剥製、撮影記録のないカラスライドなど、標本、資料価値のない諸資料がかなりの場所を占領しています。特に仮剥製は破損したものが多く標本はおろか、教材としての価値もないものが多いです。

今回は内容を確認できた仮剥製全て(2箱分)とカラスライド12箱分を廃棄してスペースを確保したいので、自分の物があれば引き取りたいと思われる方があったら、下記までご連絡ください。立ち会ってお渡しします。申し込み締め切りは9月末。その後廃棄します。

☞連絡先：福本

回覧板で〜す! ②

★「灰ヶ峰の生き物図鑑」完成!

呉市を中心に自然観察会や自然保護活動で活発な活動をされている「ひろしま自然の会」から、活動の集大成として、素晴らしい図鑑が発刊されました。

鳥類・昆虫類・哺乳類など、呉市の「灰ヶ峰」で観察された素晴らしい生き物たちがカラー写真と解説で網羅されています。

編集・出版の首謀者、住岡氏（支部会員）が支部事務所を訪問され熱く語られたところによると、特に力のこもった「ガ類」については、1082 種もの驚異的な記録の全てを写真付きで掲載し、成虫の出現「月」の記録を明示したことに注目してほしいとのこと。

A5 版 152 ページ フルカラー 2,000 円。
一般書店やアマゾンでは販売されていません。

売れ行き好調で初版の残部は少数。購入を希望される方は急いでご連絡ください。

☞ 問合せ先： 光本正伯 m_komoto@nifty.com



探鳥会のご案内

- ◇探鳥会には、会員・非会員の別なく参加いただけます。
- ◇参加の事前申し込みは不要です。案内に記載された「集合場所」にお集まりください。
- ◇雨天の場合は中止です。
- ◇参加費は 200 円です。(中学生以下、無料)
- ◇小学生以下の参加は、保護者同伴をお願いします。
- ◇自然観察では「やさしいきもち」を励行し、自然へのローインパクトを心がけましょう。

◆記載内容

- ①集合時間
- ②集合場所
- ③解散予定
- ④コース内容
- ⑤観察可能種
- ⑥その他
- ⑦担当者 (TEL)

9月・10月のフィールドは、大賑わい！

- 貴重な干潟や湿地を渡っていくシギ・チドリ類
- 大空を雄大に舞う猛禽類の渡り
- 一時的に通過していく旅の小鳥たち
- 混群の留鳥たちとの遭遇
- 越冬のために飛来する冬鳥との再会。。。。等々

テーマも多様で、初心者の野鳥観察入門には絶好の時期です。
楽しく野鳥観察・自然観察を楽しみましょう！

● エクリプスと保護鳥を見る会

No. 1880 安佐動物公園探鳥会 9／7 (土)

支部長さんの案内で、安佐動物公園内での探鳥会を開催します。動物園内に生息する身近な野鳥の観察はもちろん、飼育中のカモ類のエクリプス羽の観察や、バックヤードでの保護鳥飼育現場の見学など、フィールドだけでは得難い貴重な体験ができそうです。

(広島市安佐南区)

- ① 9:00 ②動物園入場口
- ③12:00 ④公園内を徒歩
- ⑤オシドリ、フクロウ、コウノトリ等々

■動物園の入場料は 500 円です。
公的な割引もありますので、各自必要な証明を持参してください。

■駐車場も別途有料です。440 円
公共交通機関でお越しの方は、
広電バスをご利用ください。
詳しくは動物園 HP 参照

⑦福本

● 秋の渡り パート2

No. 1881 松永湾探鳥会 9/15 (日)

県東部最大の干潟・松永湾で、渡り途中のシギ・チドリ類を観察しましょう！ 地味でとっつきにくいと思われがちなシギチドリですが、じっくり観察するとその奥深い世界に引き込まれ、きっとあなたもシギチフリーク一直線です。(福山市)

①9:00

②「ゆめタウン松永」南の松永浄化セター南側

③12:00

④集合場所で干潟を観察し、車で藤井川河口に移動後、徒歩で観察。

■まだまだ暑い時期です。

暑さ対策は万全にお願いします。

■集合場所が変更になっていますのでご注意ください。

JR で来られる方は、遠慮なく担当者にご連絡下さい。JR 南口まで送迎があります。

⑤シギチ類・サギ類・カモ類など

⑥初心者大歓迎の探鳥会です。

⑦渡辺

● 鳥達の環境を守ろう！

No. 1882 八幡川探鳥会 9/16 (月祝)

この探鳥会は恒例の「清掃探鳥会」として開催されます。

今号 P16 をご参照ください。

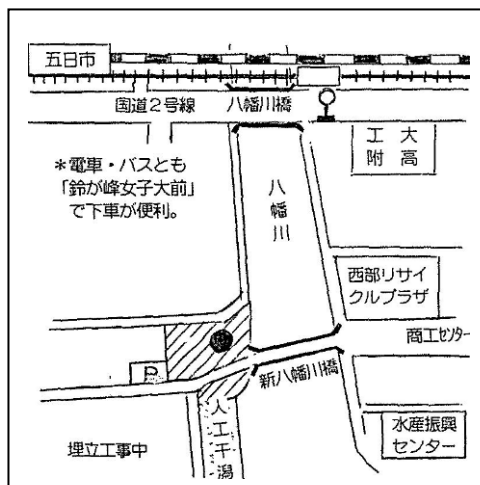
(広島市佐伯区)

⑤トウネン・アオアシシギなどのシギ・チドリ類、

水辺にサギ類や気の早いコガモ等々

⑥帽子など暑さ対策を万全に。飲料必携です。

⑦日比野



● 今年もハチクマを見送しましょう！

No. 1883 新山探鳥会 9/22 (日)

内陸部を渡っていくハチクマを見送る観察会です。今年もきっと感動的な渡りが見られることでしょう。

(世羅町)

①9:00 ②「シャンテパーク新山」集合 ③自由

④定点観測 ⑤ハチクマなど猛禽類の渡り 他

⑥担当者は早朝から一日中現地にいますので、ご都合の良い時間に集合・解散、OK です。

⑦内海



■集合・観察場所が不明の方は、支部 HP でご確認ください。

● 今年もハチクマを見送しましょう！

No. 1884 佐伯区運動公園探鳥会 9/28(土)

広島市西部の見晴しの良い高台から、猛禽類の
壮大な渡りを観察しましょう。(広島市佐伯区)

- ①9:00 ②運動公園の上に位置する駐車場
- ③11:00 ④公園からの定点観察
- ⑤ハチクマ等猛禽類の渡り エゾビタキ等の小鳥類
- ⑥午後も観察される方は弁当持参
- ⑦高橋

● 瀬戸内の絶景！

No. 1885 葉田竜王山探鳥会 10/6(日)

竜王山の山頂(445m)で、眼下に広がる瀬戸内の
絶景を眺めながら、サシバの渡りを観察しましょう。
(三原市)

- ①9:00 ②三原市中央公民館駐車場に集合。
- 観察地がわかる方は先行も可。③解散は随時
- ④山頂の展望台から定点で観察 ⑤上空にサ
シバ等猛禽類、観察地周辺でシジュウカラ・エナ
ガ等の小鳥類 他
- ⑦三好

● のんびり川辺をウォッチング！

No. 1886 可愛川探鳥会 10/14(祝)

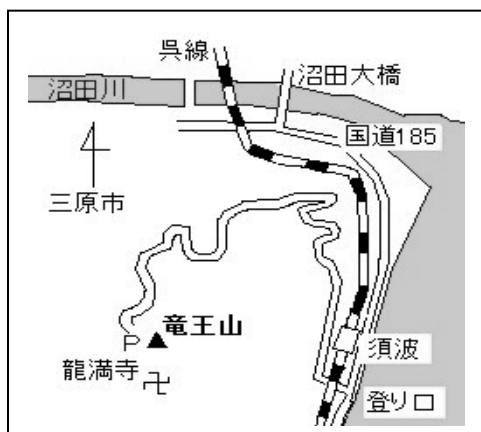
旧吉田町の可愛川(えのかわ)沿いに歩くハイキン
グ探鳥会です。モズの高鳴きに秋の訪れを感じな
がら、豊かな川辺の自然を楽しみましょう。

(安芸高田市)

- ①9:50 ②広電バス吉田出張所 ③14:00
- ④集合地から車で移動し、川沿いを徒歩で探鳥。
- コース途中で昼食を取ります。

■観察地は、広島市植物公園の北
西に位置しています。車の方は
2号線バイパス波出石交差点の
西隣の信号を右折すると標識が
出ています。

観察地は公園最上部ですので、
公園に入らず、正門前から左に
折れ、道なりに登ってください。



- ⑥午後も観察される方はお弁当を。
展望台には屋根もあり座る場所もありま
すが、アウトドア用の椅子を持参され
ると楽に観察できます。

■広島方面からは広電バスで
バスセンター8:15 → 横川駅 8:20
→ 9:46 吉田出張所

■集合地からの移動と帰途時に、
車への分乗にご協力ください

- ⑤カワセミ・ノビタキ・セキレイ類 等
- ⑥弁当をご持参ください。
- ⑦出口

①集合時間 ②集合場所 ③解散予定 ④内容 ⑤観察可能種 ⑥その他 ⑦担当者

● 河口の水鳥ウオッチング！

No. 1887 八幡川探鳥会 10/20(日)

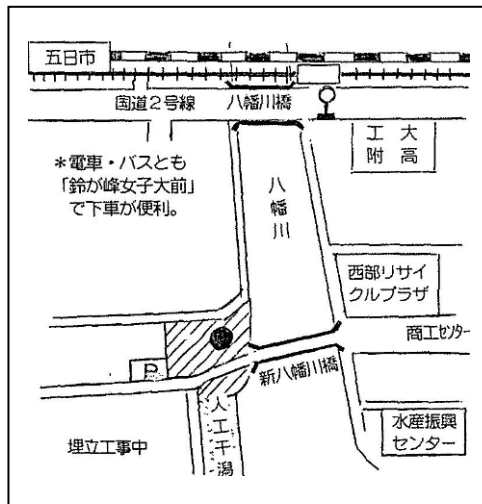
いよいよ冬鳥観察の本番に突入です。
八幡川の河口や人工干潟、埋立地内の水辺に、
沢山のカモ類やカモメ類が帰ってきました。再会
を祝いながらゆっくり観察しましょう。

(広島市佐伯区)

- ①9:30 ②みずとりの浜公園東端のベンチ周辺
③12:00 ④埋立地内道路を徒歩で観察(4km)
⑤マガモ・ヒドリガモ等のカモ類、ウミネコ・セグロカ
モメ等のカモメ類、シギチドリ類・サギ類・セキレイ
類などで約 50 種が期待できます。

⑥飲料必携。雨天決行。

⑦日比野



マナーツル

【や・さ・し・い・き・も・ち】

- や 野外活動は無理なく楽しく
- さ 採取は控えて、自然はそのままに
- し 静かに、そーっと
- い 一本道、道からはずれないで
- き 気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑
- も 持って帰ろう、思い出とゴミ
- ち 近づかないで、野鳥の巣

※日本野鳥の会の「マナー標語」です

森の新聞に掲載する「探鳥会報告」の寄稿を募集します。
「素晴らしい野鳥との出会い」「楽しかった探鳥会の様子」等を、
是非読者のみなさんにご紹介ください。 ☞ 光本 m_komoto@nifty.com

探鳥会報告記

No. 1878 八幡川探鳥会

～ツバメのねぐら入り探鳥会に参加して～

▲8月4日に八幡川で開催された、ツバメのねぐら入り探鳥会に参加しました。

八幡川でツバメのねぐら入り探鳥会が開催されるのは今年で2年目です。

去年もすごい乱舞が見られ感動しましたが、今年もツバメの乱舞に感激しました。尾羽が短い今年生まれの幼鳥達が繰り広げる乱舞、特に葦原に入っていくときの急降下！どうやってこのような飛行術を覚えるのか不思議です。

▲「ツバメのねぐら入り」というものを、野鳥の会に入ってから初めて知りました。

ツバメの親鳥が子育てをしている間、最初に巣立った幼鳥達は、秋の渡りの時期まで、集まり集団でねぐらをとるようになるということでした。

▲数年前に、初めて太田川で開催されていたツバメのねぐら入り探鳥会に参加し、2,000羽のツバメの乱舞に感激しました。

日が沈む頃になるとどこからともなく突然現れてくるツバメ達。

そして、45分くらいも飛び続けた後、次々と葦原に入っていく。

そんなことがあちこちで行われているなんて全然知らず、そういうふうに集団で眠るんだというのを知って感動したのを覚えています。

▲ツバメのねぐら入りは、何度見ても感動します。今年も探鳥会参加の皆様と一緒に感動できて、とても良かったと思います。

高橋（会員）

八幡川河口

人工干潟清掃探鳥会のご案内

人工干潟の清掃活動と野鳥観察を通して、「人と野鳥の共生」を考える機会となるように、2年ぶりに八幡川河口で「人工干潟清掃探鳥会」を行います。非会員を含む地域参加型のイベントとして市民にも広報し、人工干潟の清掃活動のあと、埋立地内で野鳥を観察します。

- (1) テーマ： 「人と野鳥の共生を考える」
- (2) 日 時： 2013 年 9 月 16 日(月・祝) 10 時 00 分～12 時 30 分
※少雨決行。強風雨の場合は、9月29日(日)に順延。
- (3) 場 所： 八幡川河口人工干潟(清掃活動)～埋立地(野鳥観察)
- (4) 集 合： みずとりの浜公園東端の広場(9時30分受付開始)
- (5) 参加費： 無料
- (6) 申込み： 不要
- (7) 持ち物： 帽子、濡れたり汚れてもいい靴(長靴が望ましい)、飲み物、
不要なレジ袋(あれば)、双眼鏡・スコープ
※軍手、清掃活動後の飲み物を用意します。

【ご注意】

- (1) 帽子、飲み物など、暑さ対策をご用意ください。
- (2) 埋立地内にはトイレがありません。公園のトイレをご利用ください。
- (3) 小学生以下の参加者には保護者の同伴をお願いします。

(問い合わせ先☎堀江)

★スタッフ募集中★

人工干潟清掃探鳥会の当日のお手伝いをしていただける方を募集しています。
(受付、清掃活動のグループリーダー、野鳥観察の案内係など)
ご協力いただける方は、担当までご連絡ください。

★お手伝いはムリという方も・・・

1 人でも多くの方のみなさんの参加をお待ちしています！

話題の感染症

「ダニによるヒト感染症について」

会員（医師） 倉岡

いまダニによる感染症、とくに重症熱性血小板減少症候群（SFTS）が話題になっていますが、ダニにかまれてかかる感染症は他に「つつが虫病」「日本紅斑熱」などがあります。このたび会員からの要望に応じて、この3つのダニによる感染症を解説します。

1）重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

平成23年に初めて特定されたSFTSウイルスに感染して引き起こされる病気で、ウイルスを保有している“マダニ”にかまれることにより感染します（マダニは家庭内にいるダニとは種類が異なります）。

症状はマダニにかまれてから6日から2週間で原因不明の発熱、吐気、腹痛などの消化器症状が出現し、血液検査で血小板や白血球数が減少するのが特徴ですが、極めてまれな疾患でこれまで全国で16人が発症して9人が死亡しており、死亡率が高いということで話題になっています。

医師にとっても疑ってかからない限り診断は極めて困難で、1～2週間前にダニにかまれた（山に入った）という訴えが診断のきっかけとなります。診断がつけばテトラサイクリンという抗菌薬が効きますが診断がつかないと重症化して死亡することもあるようです。

マダニにかまれても痛くも痒くもないのでSFTS等マダニが媒介する感染症を予防するには“マダニに咬まれないようにする”ことが重要です。バードウォッチングなど野外で活動する際は、長そで、長ズボンなど着用して皮膚の露出を避け、ズボンやシャツの裾などを入れ込んでマダニの入り込みを防ぐ。長靴をはくのも効果的です。野外活動後は体や服を叩きマダニ（3～4mm大）に刺されていないか確認することが必要といわれています。

詳しくは広島市ホームページから「マダニが媒介するSFTSの予防方法、相談窓口について」をご参照下さい。

2）「つつが虫病」

ダニに咬まれて発症する病気のなかで最も多く、毎年400人前後の患者報告があり、広島県でも毎年発症例があります。ダニの1種であるツツガムシが媒介する



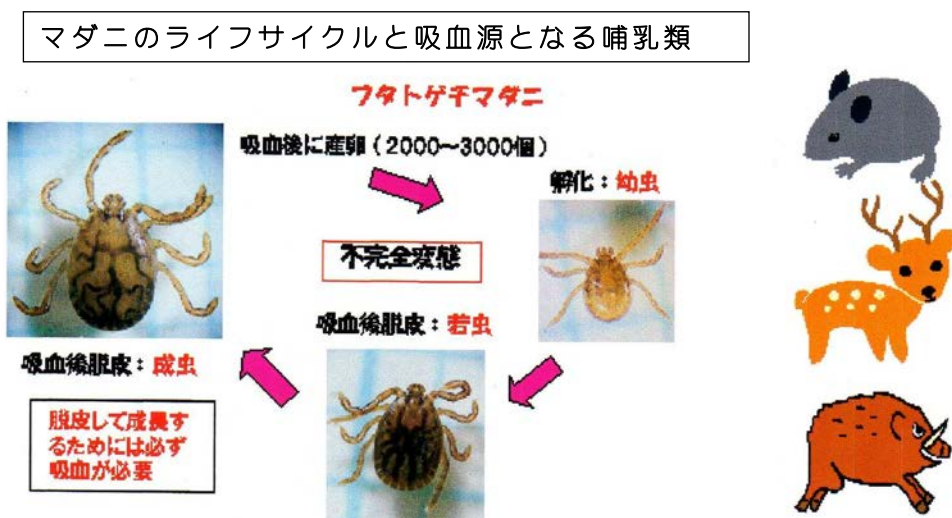
ケッチアという病原体が原因で、リケッチアはウイルスと細菌の間に位置する大きさで SFTS と同様にテトラサイクリン系の抗菌薬が有効で治療できます(但し最近よく使われる抗生物質は効かないので診断がつかないと死亡するケースもあります)。

症状は、ダニの刺し口、発疹、発熱が主な症状(3主徴)で、原因不明の発熱や発疹があって、全身くまなく探して皮膚の刺し口を見つけることが重要です。また患者さんとしては1～2週間前に野山に入ったという申告が診断のきっかけとなります。皮膚の発疹は手足ではなく体幹部中心で、刺し口は 10mm 前後の大きさがカサブタがあるのが特徴で診断のポイントとなります。

3)「日本紅斑熱」

日本紅斑熱もつつが虫病と同様でマダニが媒介するリケッチア病です。西日本に多いといわれていますがつつが虫病より少なく年間の患者数は約 150 例程度で、発疹は手の平など四肢に多いようです。症状はつつが虫病と同じく、ダニの刺し口、発疹、発熱が主な症状で、診断がつけばテトラサイクリン系の抗菌薬が有効で治療できます。

以上、マダニによる 3 つの疾患とも非常にまれな疾患です。野山に入ってマダニにかまれて1～2週間後に原因不明の発熱で発症する疾患で有効な治療薬もありますが、診断が非常に難しく、医師の想定外の疾患です。野山に入ってマダニに咬まれた可能性があることを正しく申告することが診断のきっかけとなります(咬まれたときは痛みなどの症状はありません)。また、バードウォッチングに限らず野山に入るときは、長そで、長ズボンなど着用して皮膚の露出を避け、ズボンやシャツの裾などを入れ込んでマダニの入り込みを防ぐ予防策が重要です。また野外活動後は、帰宅後すぐに入浴し、マダニが吸着していないかを確認することを専門家は勧めています。



野鳥情報

受付期間:	I, II	2013/6/1 ~ 2013/8/4
	III	2013/6/16 ~ 2013/8/9
報告者数:	3 名	種数: 5 種 件数: 5 件

※番外 0 件を除く。

【広島・呉】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 4 件

カルガモ 18 7/15 酒井 安佐南区
親鳥よりふた回り小さく模様もまだ黒っぽい幼鳥を連れた2組が、ほぼ同じ場所(橋げた近く)で採餌。ときどき交る。見える範囲でそれぞれ9羽と7羽の幼鳥がいた。古川では、梅雨あけ時期から毎年恒例

ツバメ 400 7/28 高橋 東区
ねぐら入り。小雨、晴天の2日観察。両日とも18:45にどこからともなくツバメが集まってきた。19:30まで周辺を飛び回り、中洲の低木の中のねぐらに入った。正確にはわからないが、私が見たツバメは全て幼鳥であった。

【福山・尾三】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 1 件

チュウシャクシギ 2 7/18 渡辺 福山市 2羽のチュウシャクシギ越夏個体



春、松永湾に立ち寄った100羽を超えるチュウシャクシギの群れも、5月19日にその殆どが旅立ちました。

3羽が残りましたが、内1羽はテグス？で右脚を痛めており、好物のカニも満足に捕れない様子。

5月29日、3羽の内の1羽が抜け、右脚を痛めた個体と健全な1羽の2羽となりました。

脚を痛めた個体は、その後、壊死した足先が脱落し、両翼でバランスをとりながら、懸命に採餌していましたが、健全な1羽が常に寄り添い、繁殖地に向けて旅立つこともなく、この2羽は松永湾で越夏しました。

脚を痛めた個体が明らかに体が大きく、雌の可能性がありますが、傷ついた仲間を見捨てないチュウシャクシギの友情(愛情?)に心打たれました。

～ 野鳥情報送付メールより ～

待ってる～! 【東広島・竹原】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 0 件

季節外れでも
年越しでも

【芸北】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 0 件

【備北】 I: 0 件 , II: 0 件 , III: 0 件



イラスト:けんぞうファクトリー

- ◆ここに掲載されたものは野鳥情報カードからの抜粋です。無断転載等は固くお断りいたします。
- ◆掲載されたもの全てが必ずしもそのまま公式記録になるわけではありません。ご了承ください。
- ◆野鳥情報カード I・II は事務所へ郵送、野鳥情報カード III は BCL06644@nifty.com へメール添付してお送りください。
- ◆新市町村名が分からない場合は、旧名称で記載してください。

連絡会報告

7月連絡会

日時：平成25年7月11日（土曜日）

18：30～20：35

出席：福本、三好、光本、中崎、藤井、
今橋、井町、大西、堀江、日比野

欠席連絡：倉岡

1. 入会パンフレット（福本）
本部パンフレットにゴム印で支部会費額を押し利用する。事務所の玄関扉に入会パンフレットを常置した。
2. 事務所駐車スペースについて（福本）
家主さんが利用されないとき、事務所脇のスペース（2台分）が利用可能。
3. 平成26年度総会講演者内定（福本）
テーマ県の鳥獣保護、自然環境課の藤井会員
4. 本部から派遣要請対応（福本）
横浜ゴム(株)尾道工場で探鳥会指導、幹事の渡辺健三さんが担当する。
5. 支部事務所関連
 - ・プリンター修理中（倉岡）
 - ・事務所保管の野鳥スリット写真と仮剥製：森の新聞で広報後の処置する（福本）
 - ・ひろしま野鳥図鑑：7月6日現在79冊直接販売に限り特別価格で販売継続する。
6. 野鳥記事新聞掲載の可能性（福本）
中四国ブロックで、高知支部が地元高知新聞社と協働している紹介があった。支部でも可能か折衝してみる。
7. 法人会員（福本）
法人会員を支部が獲得した際は3割の3万円が支部に還元される。
8. 港湾振興事務所との面談（福本）
 - ・新八幡川橋下流側に新たに架橋される
 - ・埋立地内の池保全策について申入れ
9. 探鳥会保険について（光本・福本）
支部独自で手厚く保険加入することを勧められていることへの対応協議した
10. 清掃探鳥会（堀江）
7月中旬に助成金交付可否判明。交付に関わらず9月16日実施予定。

11. 野鳥観察マナーについて

新聞掲載した内容について話し合い。

12. 野鳥保護と司法・行政のレクチャー（藤井）
傷病鳥の保護するとき、どこまでが適法でどんなケースが違法か

8月連絡会

平成25年8月3日（土曜日）18：40～20：35

出席：福本、倉岡、光本、中崎、藤井、今橋、
井町、大西、堀江、藤井、日比野

欠席連絡：三好

1. 連絡事項
 - ・入会案内パンフレット1か月間で8部消化
 - ・興和光学北井課長と7月10日支部事務所で面談。支部行事での販売と、協賛が可能（福本）
 - ・社協ボランティア保険に加入する準備として社協加入した。必要な情報を整え9月の清掃探鳥会前までに加入する。（光本）
2. H26年度支部総会段取り
予定日時：H26年1月26日（日）午後
場所：三篠公民館（予約手配：光本）
3. 9月10月探鳥会・事務所当番の調整（光本）
配布した行事予定表に従い調整。
4. 野鳥観察・写真撮影のマナーについて
話し合い継続、森の新聞にホームページ内容再掲
5. 森の新聞
8月10日（土）原稿締切 今橋さんへ送る。
17日印刷所へ原稿送付、24日（土）印刷引き取り、8月25日（日）発送
6. 清掃探鳥会（堀江）
全労済地域貢献事業の助成が決定。
9月16日（月・祝）の内容について協議
7. 野鳥行政のレクチャー（藤井）
 - ・生物多様性：広島戦略をパンフレットをもとに説明
 - ・アビ保護：特別指定区域のパンフレットをもとに説明
8. 他
3日午前中の広島城探鳥会を担当の倉岡さんから使用した探鳥会タスキの紹介があった。

二宮さん

- ★新聞が届かない場合は、早めにご連絡下さい。
- ★住所変更は支部・本部両方にご連絡下さい。(支部ですませたい方は「本部へ連絡を」と注記を)
- ★継続会費納入が4か月滞ると、会報の発送が止まります。

GATHERING CALL ～ 編集後記

■今号の表紙は「ハチクマ成鳥」

- 秋 になった。カモとシギ・チドリが到来して。夏の暑さは残っていても。(日比野)
- 今回は仕事に追い詰められて、原稿は手抜きし、表を作ってごまかしました・・・って、どう見ても「逃避」ですね。(中崎)
- 夏の八幡川探鳥会——会員以外の熱心な方々も多く参加されて感謝です。(石川)
- 子供の頃以来の大山登山。暑さは覚悟していたが、ジョウビタキ♂を見て季節を忘れ、足で 年を自覚した。(酒井)
- 9 月には地域の皆さんを巻き込んでの活動「清掃探鳥会」も開催されますし、広島城での定例探鳥会開催の準備も進んでいます。秋の探鳥会でお会いしましょう。(光本)
- 今号を担当しました。前号のマネをするので精いっぱい。誤字・脱字その他間違いや表現の不適切な箇所はすべて編集子の責任です。忌憚のないご意見をお待ちしています。(今橋)

▽▽ 事務所と野鳥図書館 ▽▽

開館時間 土曜・日曜

14時～17時

- *右記の担当は替わることがあります。また、当番の急な事情で開館できないこともありますので、できれば電話でお確かめ下さい。
- *電話での直接対応は開館時間内しかできません。留守電・FAX がありますのでご利用下さい。
- *次回「森の新聞」の作業予定は

10月11日(金)原稿締切日

担当：光本 090-4694-8632

事務所当番

(9月)

1(日)休館日	7(土)才峠
8(日)福本	14(土)井町
15(日)倉岡	21(土)大西
22(日)福本	28(土)福本
29(日)図書館部	

(10月)

5(土)才峠	6(日)休館日
12(土)図書館部	13(日)福本
19(土)大西	20(日)日比野
26(土)倉岡	27(日)光本

日本野鳥の会広島県支部 & 野鳥図書館

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目9-3 小田ビル 1F

TEL/FAX 082-233-7304

http://homepage3.nifty.com/wbsj_hiroshima/index.html